

1979年の創立以来、「明るい豊かな社会」の実現を目指す乙訓青年会議所は、在籍年数が短く経験不足のメンバーが役職を担う現在においても、地域の方々からの負託と信頼に応えることができる存在でなければなりません。地域に根差した運動を展開する組織として先輩諸兄姉が築き上げてこられた会議運営方法と組織体系を継承するとともに公益法人として今まで以上に法的責任だけではなく社会的責任を果たしていく必要があります。

まずは、運動に取り組む協働体制を確立するために、役員・スタッフセミナーを開催し、理事長に2020年度の方向性を示して頂くとともに役員・スタッフに各自役割の重要性を理解して頂くことで、役職の自覚と責任の醸成に繋がります。そして、公益法人としての存在意義を明確にするとともに社会貢献的責任を果たすために、綿密な予算編成を行うことで、公益性の高い運動を展開します。さらに、有意義な会議運営に繋げるために、各委員会と連携し、入念な計画と徹底した検証を行うことで、議案の精度を高めます。また、より効果の高い事業を構築するために、財務管理を行うことで、適切な予算執行に繋がります。そして、組織の運動を独善的に完結させないために、SDGsを理解、周知し、事業とSDGsの関連性を見出すことで、持続可能な社会の形成に寄与します。さらに、規範意識の高い組織運営を行うために、組織の管理体制を強化することで、倫理法令遵守の意識を根付かせます。また、乙訓青年会議所の運動を継続的に発展させるために、12月例会を開催し、互いに功績を称え合うことで、次年度以降への活動意欲の向上に繋がります。

むすびに、総務財政委員会は下支えをする委員会に非ず、より効果のある事業構築へと導き、青年経済人として風紀を保つべく、先頭に立ち、全ての委員会を牽引する存在であるとともに、自他ともに認められる影響力と存在感のある誇り高き組織運営へと繋がります。